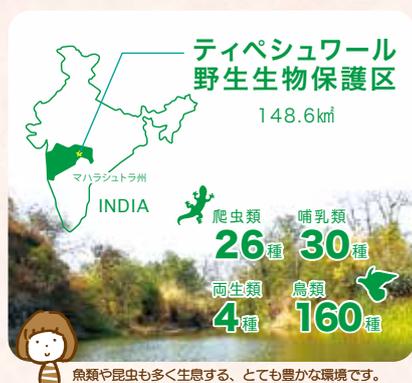


皆様のご支援で、
これだけ成果が
挙げられました。

ありがとう
ございました!

トラによる人と家畜への被害が拡大、
人々の間にトラを排除せよという不穏なムードが漂う
マイナスからの出発でしたが、
やっと本格的にトラの保護がスタートしました!

SHIN YOSHINO



これまでの
課題

ここで活動を開始した2017年には、15か月で



トラの犠牲に。

4人を襲ったとされる
子連れのメストラも殺される。

住民はトラへの怒りとトラとの共存なんてできっこないとの確信に満ちていた。保護区を守る森林局はこの「人とトラとのトラブル」を防ぐため何をすべきか知識も経験もなくわからない。住民を抑えることもできずただ対処療法だけで、住民の怒りが収まるのを待っていた。森林局も住民も話し合う気もなかった。

Achievement
成果

1

トラブルが激しかった**7**村で
森林警備員、牛飼い、村長などを
対象に**ワークショップ (WS)**開催。



→ 保護の意識と必要性を認識。
役立ったと森林局から
感謝状送付。

2

住民の間でパトロール隊結成。
ワークショップ開催。

→ トラの村近くへの出現に目を
光らせる。
山火事 (ティベシュワールで
150ha以上3日間燃え続ける)
で**WS参加者20人が消火活動
に尽力し消し止める**という森林
保護の成果も。



3

440Vの電線を使った野生動物感電死
を受け、**感電防止ワークショップ開催**。
森林警備員、担当官、森林内労働者、
マハラシュトラ州電力配電会社現場
スタッフ、**計107人参加**。

→ 森林局がこのWSに
満足し「今後、日々の
パトロールに今回学ん
だことを取り入れる。」
とJTEF/WTIに**感謝状**が
送られた。



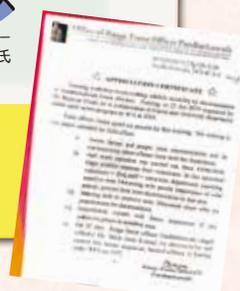
感電撲滅の取組は
密猟対策と同じく、
戦闘と考えるべき

WTIの中央インドトラ保護コーディネーター
ブラフラー・バンブルカー氏

- ☑ WSを通して、住民がトラと共存する方法があることを確認した。
- ☑ 森林局がJTEF/WTIのアドバイス、トレーニングを通してパトロールなどの対策を強化し始めた。
- ☑ 住民、森林局、JTEF/WTIの間で今後に向けた協力体制ができた。

※公益信託 地球環境日本基金 から助成金を頂いています。

森林局からの感謝状



残された
課題

これまで保護区の管理が全く無秩序だったティベシュワール野生生物保護区。やっと住民と森林局との間の信頼関係が築かれつつあります。ここからがスタートです。将来的に住民が共存を受け入れる気持ちになるよう、今後もワークショップを行いながら、様々な活動を行ってまいります。**引き続きのサポートをお願いします!**

皆様のご支援で、
これだけ成果が
挙げられました。
**ありがとう
ございました!**



これまでの
課題

アフリカゾウが毎年2万頭、
象牙目的で密猟されている。

象牙の需要をなくすために、ワシントン条約で国内象牙市場閉鎖決議が採択され、各国で象牙の国内販売禁止が相次いでいる。ところが、世界最大の合法市場をもつ日本だけが「日本の象牙市場は、違法取引に関係していない」と主張し、象牙をオープンに販売し続けている。

国内販売禁止します!



Achievement
成果

5月

報告書

「日本の国内象牙市場を閉鎖しなければ
ならない5つの理由」発表



7月

小池百合子東京都知事に対し、国内外のNGOの賛同を得て、東京都内での象牙販売禁止と日本政府への**全国的禁止**へのはたらきかけを要請。

6月

環境省による7月1日からの
全形牙登録審査の厳格化に対し、抜け穴があること、「**駆け込み**」登録をさせるため、2年近い猶予を与えた結果、**由来の怪しい在庫が181トン**にまで膨れ上がってしまったことを**批判**。

8月

ワシントン条約第18回締約国会議(ジュネーブ)参加にあたり、**事前、開催中ともに、各国にはたらきかけ**。米国NGOのEIAとともにサイドイベント「日本の違法な象牙取引」を開催して、100名を超える政府代表、NGOらに問題点を説明。

- ☑ 日本の象牙問題についてJTEFのコメントがついた新聞記事が多数掲載され、世論の関心が高まった。
- ☑ ケニアからアフリカの32か国が、日本を名指しして象牙市場を閉鎖するよう要請。
- ☑ 衆議院環境委員会で、与党議員が閉鎖に向け歩み出すべきではないかと環境大臣に提案。
- ☑ ワシントン条約会議が、違法取引に関係していないと主張する日本に報告書を提出させ、条約の委員会で審査を行うこととする決定を採択。
- ☑ インターネット小売の最大手、ヤフーが、条約会議最終日に、11月1日からの象牙販売禁止を宣言。

※(公財)緑の地球防衛基金「地球にやさしいカード」から助成金を頂いています。

残された
課題

日本政府の「日本の市場は密猟も違法取引にも関係していないから、閉鎖の必要なし。」という立場はまだ変わっていません。来年7月からの東京オリンピック・パラリンピックの時期を含め、大量の人・物の動きにまぎれてオープンな象牙市場へ違法に象牙を持ち込んだり、持ち出そうとする動きが活発化するおそれは高まるばかりです。追い詰められた日本政府に、早急な市場閉鎖をさらに求めていく必要があります。引き続きのサポートをお願いします!



New Project

アジアゾウの生息地保全へのご支援のお願い

10年続けた北東インドでのプロジェクトが昨年度で終了しました。今年度の1年間をかけて選定、準備を行ってきた「南インド・ゾウ保全プロジェクト」は、2019年度からスタートします。世界最大のアジアゾウ個体群が広範囲の移動に使う森林=コリドーを守る活動です。是非ご支援ください。



©Susumu Murata

ヤマネコの交通事故、観光利用による
生息地かく乱を防ぐ仕組みを確立できるかどうか、
今が正念場です。

これまでの
課題

ヤマネコの交通事故



100頭のうち…2018年9頭過去最多(うち6頭死亡)

Achievement
成果

- 1 夜間パトロール **118回実施**(2018年3月~2019年4月)
- 2 第4回イリオモテヤマネコの日 シンポジウム
「これからのヤマネコ保護にもとめられること」
→ やまねこパトロールによる交通調査の結果発表とこれまでの交通事故対策の課題を整理。
やまねこパトロールが働きかけてきた交通事故対策条例案を竹富町から紹介。

- 3 ヤマネコのいるくらし授業
上原小学校4年生の授業と学習発表会に協力
→ 子どもたちがヤマネコのロードキルの現状を発表。
作成したチラシを観光客に配布。作成した看板は事故多発地点3カ所に設置。
- ヤマネコ教員研修会
→ 西表島に新しく赴任された小中学校の先生方を中心に、フィールドワーク、ワークショップを教育委員会と共催。



- ☑ 子どもから大人へヤマネコ保護の大切さを伝える機会が増えている。
- ☑ 先生方がやまねこ授業に関心をもち、次年度に授業を組み入れたいという先生数名。
- ☑ 島民の夜間運転車両の平均速度が2015年から2018年まで、3年連続で減少(2015年:45.1km/h→2018年41.6 km/h)
- ☑ 2019年10月14日現在、交通事故件数1回にとどまっている。

これまでの
課題

生息地のかく乱

西表島が世界自然遺産に登録されると、観光客の生息地への入り込みも増える生息地のかく乱、ヤマネコの道路上への出没を増やす人馴れのおそれ

Achievement
成果

- 1 「竹富町観光案内人条例」に対して
意見書を提出
→ 観光客による生息地かく乱を防止するための十分な対策と地域住民の意見を反映するよう求めた。
- 2 世界自然遺産への登録推薦を審査するIUCN(国際自然保護連合)に
意見書「西表島の自然が直面する新たな問題と、進め危機管理対策」を提出
IUCNとの意見交換会に出席し、意見表明。

☑ IUCNが、意見交換会の場で、次のように
厳しく指摘した。

「観光管理が大きな問題となったガラパゴスは危機遺産リストに載ることになった。西表島では、登録される前にこのような問題が起こらないことを我々に保証して欲しい。」



※(公財)自然保護助成基金、Us 4 IRIOMOTE 助成プログラムから助成金を頂いています。

残された
課題

竹富町の(仮)交通事故防止対策条例の正式な検討はまだ始まっていません。
西表島の島自体、ツアーのスポットになっているそれぞれのフィールドに入れる人数制限などのルール作りも進行が遅く、西表島住民のやまねこパトロール活動への参加をもっと高めていく必要があります。**引き続きのサポートをお願いします!**

2019

Jan.

▶19 総会 & サポーター交流会 @JTEF事務局

Feb.

9.1 **かなざわバレンタインフェアトレードdeチョコまつり！に参加**
@金沢動物園

「野生の」数10種の盛衰の歴史の果てに、アジアゾウとアフリカゾウの2種が今生存している背景、それにもかかわらず、それらが危機に陥っている原因、私たちに出来ることをお話ししました。100組近い方たちに話を聞いて頂き、活動支援の募金にご協力いただきました！



9



竹富町 やまねこマラソン大会に出場 & ブース出展 @西表島

スタッフ一同とヤマネコ保護に賛同してくださる皆さんの「チーム山猫パトロール」で走り、安全運転を訴えました。

Mar.

30.31 **KEEN FEST Tokyoに参加**
@代々木公園

やまねこパトロールを支援するフットウェアメーカー：KEENのフェスでJTEF賛同者の坂本美雨さんが、イリオモテヤマネコ保護への支援を訴えました。



Apr.

- ▶14,15 「イリオモテヤマネコの日」記念シンポジウム @西表島大原 & 上原
- ▶20,21 アースデイ東京2019 @代々木公園
- ▶12-27 竹富町と共催でヤマネコ保護パネル展示 @石垣離島ターミナル

May

- ▶3,4 金沢動物園インド祭りにブース出展 @金沢動物園
- ▶19 東京西表島郷友会総会にブース出展 @川崎市総合自治会館

Jun.

▶22 沖縄音楽三線教室(伊良波幸吉主宰)記念公演にブース出展 @港区メルパルクホール

Jul.

6 **JTEF**
チャリティーパーティー2019
@ピヤステーション恵比寿

当日参加の方から136,500円のご寄附をいただきました。不参加ながら寄附をいただいた方を含めると、118万3000円！



28



世界トラの日に、野生のトラについて解説
@上野動物園

動物園ボランティアさんたちとともにブースを特設。トラの前で野生のトラ保護についても解説。

Aug.

12 **世界ゾウの日に、上野動物園と**
トークショー @上野動物園

5日後に始まるワシントン条約会議に先立ち、日本が国内象牙市場を閉鎖しなければならないことを訴えました。また、あまり知られていない野生のアジアゾウの現状と危機についても解説。



Sep.

▶28,29 ナマステインディア2019にブース出展 @代々木公園

Oct.

▶26,27 ディワリ・イン・ヨコハマ2019にブース出展 @山下公園

【JTEFの賛同者】

相澤登喜恵さん(動物肖像画家)、新井晴みさん(俳優)、安藤元一さん(ヤマザキ学園大学名誉教授)、池田卓さん(シンガーソングライター)、井上奈奈さん(現代アーティスト)、岩田好宏さん(子どもと自然学会顧問)、牛越峰統さん(一般社団法人日本プロサーフィン連盟名誉顧問)、大森享さん(元北海道教育大学教授)、岡田彰布さん(野球評論家)、小川潔さん(東京学芸大学名誉教授)、加藤登紀子さん(シンガーソングライター)、蟹江杏さん(版画家)、見城美枝子さん(青森大学副学長・エッセイスト)、巨勢典子さん(作曲家・ピアニスト)、小林裕児さん(画家)、権藤真慎さん(前社団法人兵庫自然保護協会理事長・元神戸市立王子動物園園長)、坂本美雨さん(ミュージシャン)、沢田研二さん(歌手)、瀬木貴将さん(ミュージシャン)、田中豊美さん(動物画家)、田中裕子さん(俳優)、田畑直樹さん(葛西臨海水族園園長)、土居利光さん(前恩賜上野動物園園長・日本パンダ保護協会会長)、並木美砂子さん(帝京科学大学教授)、根本美緒さん(フリーキャスター・天気予報士)、南ぬ風人まーちゃんうーぼーさん(三線アーティスト)、ヒサクニヒコさん(漫画家)、平岩弓枝さん(作家)、福井崇人さん(2025PROJECT理事)、福田豊さん(恩賜上野動物園園長)、藤木勇人(志いさー)さん(唸家)、古沢広祐さん(國學院大学教授)、前川貴行さん(動物写真家)、松田陽子さん(シンガーソングライター)、水野雅弘さん(株式会社TREE代表・プロデューサー)、三石初雄さん(東京学芸大学名誉教授)、宮下実さん(ときわ動物園園長・元近畿大学教授・大阪市天王寺動物園名誉園長)、村田浩一さん(日本大学生物資源科学部特任教授)、森川純さん(酪農学園大学名誉教授)、八千草薫さん(俳優)、山極壽一さん(京都大学総長/進化論・生態学・環境生物学・動物学)、山崎薫さん(学校法人ヤマザキ学園理事長)、吉野信さん(動物自然写真家)、渡辺貞夫さん(ミュージシャン) 50音順 敬称略



年間を通して
気軽に参加できる
イベントがあります！



2018年度にJTEFが行った支援



・中央インド・トラ保全プロジェクト (2019年10月8日時点)	¥1,625,400
・北東インド・アジアゾウ保全プロジェクト *昨年度で終了したため。今年度予定していた分を含め、来年度から開始する「南インド・アジアゾウ保全プロジェクト」を支援していきます。	なし
・イリオモテヤマネコ生息地保全プロジェクト	¥311,495
・イリオモテヤマネコ交通事故防止プロジェクト (2019年10月8日時点)	¥1,372,455
・ヤマネコのいる暮らし授業プロジェクト (2019年10月8日時点)	¥340,977
・イリオモテヤマネコの日事業/ JTEF西表島支部「やまねこパトロール」運営 (2019年10月8日時点)	¥3,400,820
・政策提言事業(国内象牙市場閉鎖など) 教育普及事業(うへのトラ大使など) (2019年10月8日時点)	¥3,721,792

*JTEFは、個人サポーターの方々からのご寄付の他、チャリティー・イベントでのご寄付、法人・団体からのご寄付、助成金で運営されています。
*最終的な決算(2018年11月1日～2019年10月31日)の内容は、2020年2月発行予定の「年次報告書」(トラ、ゾウ、ヤマネコ、JTEF全体の4種)でご報告します。